

次期総合計画・都市計画マスタープラン  
大野北地区まちづくり会議報告書

平成30年9月  
大野北地区まちづくり会議

## 目次

### (課題と対応方策)

- 1 都市計画・都市整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
- 2 道路・交通・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4
- 3 住環境・生活環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5
- 4 自然・環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6
- 5 【重点】産業・観光・商店街・・・・・・・・・・ P 7
- 6 安全・安心・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 8
- 7 健康・医療・福祉・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 9
- 8 教育・子育て・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 10
- 9 【重点】生涯学習・文化・スポーツ・・・・・・・・ P 11
- 10 地域コミュニティ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 12

### (付属資料)

- 会議経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 14

## 1 都市計画・都市整備

### 現状と課題

JR 横浜線淵野辺駅周辺には、大野北まちづくりセンターや公民館、市立図書館など、建設から40年以上が経過している公共施設が複数あり、各施設の老朽化が進行しています。また、大野北地区においても、他の地区と同様、人口減少とともに急速な高齢化が見込まれることから、淵野辺駅南口を中心として、公共施設の複合化による都市的な機能を整備して、幅広い世代が活躍することができる場を創出することが求められています。

### 対応方策

幅広い世代の交流の場、次世代の育成の場、地域住民と外国人の国際交流の場、地域活動の場などの様々な機能を兼ねた拠点として、淵野辺駅南口周辺に点在している図書館や公民館等の公共施設を集約、複合化し、再整備することで、大野北地区から市内外へ文化を発信する交流拠点を創る（市民・行政）【再掲】

- ・地域住民がアクセスしやすく、子どもから高齢者までが気軽に利用できる体育館などの運動施設を整備する（市民・行政）【再掲】



大野北公民館（まちづくりセンター）



JR 横浜線淵野辺駅南口周辺

## 2 道路・交通

### 現状と課題

大野北地区では、交通不便地区における高齢者等移動制約者の生活交通を確保するために、コミュニティバスの実証運行に取り組んでいます。今後、住民がより暮らしやすいまちを形成していくために、コミュニティバス路線の維持・新設、道路交通環境の向上が求められます。

また、公共交通においても、JR 横浜線淵野辺駅は駅別乗降員数が市内各駅の中で3番目でありながら、快速列車の停車駅となっておりません。さらに、当駅利用者の安全性に配慮した、駅ホームの整備も課題となっています。

### 対応方策

#### 道路交通環境の向上

- ・道幅が狭い又は交通量が多い道路（相模中央自動車学校から古淵方面への道路（市道淵野辺古淵）及び県道 57 号淵野辺駅北口入口付近交差点）に対して、一方通行、右折禁止措置、通行の時間制限などの規制をかける（行政・その他）
  - ・慢性的な渋滞発生箇所（矢渕陸橋、上矢部交差点、淵野辺駅入口交差点、青山学院大学周辺など）の渋滞緩和策の検討をする（市民・行政）
  - ・国道 16 号淵野辺十字路交差点の信号待ちの自転車・歩行者用スペースの確保、分離信号の設置等の検討をする（行政）
  - ・宮前橋を拡張する（市民・行政）
  - ・コミュニティバス路線を維持し、新しいルートを設置する（市民・行政・その他）
- 淵野辺 古淵・町田方面
- ・コミュニティバスを地域内でPRすることで利用促進を図る（市民）

#### 公共交通の利便性の向上

- ・JR 横浜線快速の淵野辺駅への停車に向けた検討を進める（市民・行政・その他）
- ・JR 横浜線淵野辺駅ホームを拡張し、ホームドアを設置する（行政・

その他)

- ・JR 横浜線淵野辺駅北口エスカレーター付近へ街灯を設置する(行政)



コミュニティバス

### 3 住環境・生活環境

#### 現状と課題

大野北地区は、多くの大学が立地され、大学生などの多くの若者が集まる活気あるまちです。今後もこれらの若者が社会人になってからも、この地域に住みたくなるよう、暮らしやすいまちづくりが求められています。

また、JR 横浜線淵野辺駅前の飲食店周辺については、ごみの夜間収集が行われるようになり、衛生面において改善されました。

しかし、ごみの分別や出す時間を守らない人がいるなど、住民のゴミ出しマナーが課題となっています。さらに、地区内に在住する外国人の増加に伴い、ゴミ出しルールの周知方法についても、多言語化などの対応が求められています。

#### 対応方策

- ・地域の住民と大学生などの若者が交流する場を設け、地域の課題を共有し、暮らしに関する情報発信を積極的に行う(市民・その他)
- ・隣接市を含めた住民を対象に、ゴミ出しマナーの啓発を行う。(市民)
- ・ゴミ出しマナーについて、多言語に対応したチラシやアプリを作成するなど、情報発信を多様化する。(市民・行政)

## 4 自然・環境

### 現状と課題

大野北地区内には、鹿沼公園をはじめ、多数の公園や広場が整備されています。しかし、多くの公園や広場では、ボール遊びやスケートボードなどの利用について制限されており、子どもたちが自由に遊べる場所の確保が求められています。

また、大野北地区においては、生産緑地が多数存在しており、緑地保全・活用に係る対策の実施が求められています。

### 対応方策

#### 公園等の整備

子どもたちがボール遊びをすることができる場所や家族で楽しめるレクリエーションの場を確保するなど、地域のニーズに応じた公園、広場の利用方法の検討を進める（市民・行政）【再掲】

- ・地域住民の憩いの場である鹿沼公園については、スケートボードが使用できる場所を整備するなど、多くの人を楽しみ、憩うことができるように、防犯の視点も検討しながら、全面リニューアルによる公園の魅力向上を図る（市民・行政）

#### その他

- ・6次産業の推進などの取組により緑地を保全、活用し、乱開発を防止する。（市民・行政）
- ・境川周辺の遊歩道や休憩所、フェンス、街灯、サイクリングロード等を整備する（行政）



鹿沼公園（白鳥池）



鹿沼公園（野球場）

## 5【重点】産業・観光・商店街

### 現状と課題

JR 横浜線淵野辺駅付近にスーパーや飲食店などが増えたことにより、買い物などの利便性が高くなった一方で、商店街では活気がなくなり、商業施設における若者離れなどが課題となっております。そのため、駅付近の商店街の活性化、近隣の大学の学生などの若者向けの商業施設の誘導などの取組により、地域の方も暮らしやすく、多くの人が集まる、元気なまちづくりが求められています。

### 対応方策

商店街利用者用の駐車場や駐輪場への利用を呼び掛け、利用しやすいスペースを確保することで、来場者を増やして、商店街を活性化させる（市民・行政）

淵野辺駅の北口と南口の商業施設について、それぞれの特色をいかした店舗を誘導し、エリア全体の活性化を図る（市民・行政）

- ・ JAXA や複数の大学が立地し、図書館や公園などの公共施設も充実しているという、市内でも文化的な色合いの濃い大野北地区ならではの魅力を生かしたまちづくりを行う（市民・行政・その他）
- ・ 若者向けの商業施設を誘致し、近隣の大学生などの若者の居場所づくりを行う（市民・行政）
- ・ 商店街と大学生によるイベントの開催を継続して行い、商店街の活性化を図る（市民・その他）



JR 横浜線淵野辺駅北口周辺



青山学院大学陸上競技部優勝パレード

## 6 安全・安心

### 現状と課題

大野北地区では、青色防犯パトロールカーの導入による防犯パトロールの実施、「セーフティーエリア」指定による地域と金融機関、大学、警察と連携した防犯啓発活動の実施など、住民が主体となつての地域の安全・安心のまちづくりの実現に向けた取組が行われています。

しかし、自転車マナー違反者の増加、オレオレ詐欺をはじめとした特殊詐欺件数の増加などの課題が挙げられ、対策が求められています。

### 対応方策

#### 交通安全の推進

- ・ 学校、自治会単位において、自転車事故防止を目的とした、教育、周知活動を実施する（市民・行政）
- ・ 自転車レーンの駐車車両の取締りを強化して、安心して自転車を利用できる環境をつくる（行政・その他）
- ・ 自転車マナーの周知の徹底、取締りを強化する（行政）
- ・ 「相模原市安全に安心して自転車を利用しようよ条例」について、親子で見て分かりやすい方法により周知を図る（市民・行政）

#### 防災力の強化

- ・ 災害時における行動の基本ルールを策定し、自治会未加入者を含めた地域住民全体への周知を図る（市民・行政）
- ・ 避難所運営訓練への参加の呼び掛けを徹底する（市民）

#### 防犯機能の向上

- ・ 地域と警察との連携を強化し、振り込め詐欺などの特殊詐欺防止対策を目的としたセーフティーエリア活動などの啓発キャンペーンを実施する（市民・行政・その他）
- ・ 青色防犯パトロールカーの巡回による住民の防犯意識の強化を図り、あわせて、夜間の防犯啓発パトロールを実施する（市民）



青色防犯パトロールカーによるパトロール



市道相模淵野辺線の自転車レーン

## 7 健康・医療・福祉

### 現状と課題

地区内に、病院や歯医者などの医療施設が充実してきています。さらに、高齢者支援センターの増設、相模野病院が神奈川県周産期救急医療システムにおいて中核病院として位置づけられるなど、医療・福祉環境の整備が進んでいます。

しかし、近年、高齢化の進展に伴う認知症の人の増加、歩道の段差や老朽化（亀裂等）、点字ブロックの老朽化などの課題が挙げられます。そのため、医療体制の強化、歩道の整備、高齢者への支援活動などが求められています。

また、地区内では、日頃の健康管理の取組として、ラジオ体操やいきいき百歳体操などが行われています。今後は、子どもから高齢者までを対象に、幅広い世代の参加を促進しながら、このような活動に引き続き取り組んでいくなど、健康づくりに関する活動を地域全体に広めていくことで、皆が元気でいきいきとした生活を送ることができる地域づくりが求められています。

### 対応方策

- ・専門医の充実した配置による、休日や夜間の医療体制の強化を図る（行政・その他）
- ・歩道や点字ブロックの不具合を解消し、歩きやすい空間を整備する（行政）
- ・点字ブロックの点検パトロールを強化する（市民）

- ・ 認知症の人への理解を深め、気軽に挨拶するなどの日頃の関わりあい  
を深めることで、みんなで助け合う地域づくりを行う（市民）
- ・ 高齢者に対して、病院への早期受診を推奨する（市民）
- ・ 住民一人ひとりが健康に対する意識を高め、地域全体で健康増進を  
目的とした活動に取り組んでいく（市民）



いきいき 100 歳体操

## 8 教育・子育て

### 現状と課題

大野北地区においては、青山学院大学や麻布大学、桜美林大学といった大学や市立図書館などの文教施設が立地しており、文教都市としての環境が充実しています。

しかし、地区の人口増加に伴い、待機児童対策や子どもの居場所づくりの推進などの子育て環境の整備が課題として挙げられており、対策が求められています。

### 対応方策

- ・ 保育士を養成し、子育て環境を整えるための人材を確保する（行政・その他）
- ・ 人材バンクを組織し、地域と学校の交流の場をつくり、小中学生への地域の歴史文化を継承する（市民）
- ・ 様々な理由により就学できなかった人の学習の機会を提供する場として、夜間中学の設置を検討し、高齢者や外国人などの多様な生徒の受

け入れ体制を整える（行政・その他）



あつまれおやこ（子育て支援事業）

## 9 【重点】生涯学習・文化・スポーツ

### 現状と課題

大野北地区は、地区内人口が6万人を超えているにもかかわらず、地区内の公民館が大野北公民館のみであり、諸室の稼働率も市内で最も高いことから、生涯学習や地域交流の場の提供が限られてしまっていることが課題になっています。そのため、施設の整備や既存の施設の有効活用などによる生涯学習の環境の充実が求められています。

また、地区の文化・歴史の若い世代への継承も課題となっており、イベントの開催や世代を超えた交流による周知活動が求められています。

### 対応方策

幅広い世代の交流の場、次世代の育成の場、地域住民と外国人の国際交流の場、地域活動の場などの様々な機能を兼ねた拠点として、淵野辺駅南口周辺に点在している図書館や公民館等の公共施設を集約、複合化し、再整備することで、大野北地区から市内外へ文化を発信する交流拠点を創る（市民・行政）

子どもたちがボール遊びをすることができる場所や家族で楽しめるレクリエーションの場を確保するなど、地域のニーズに応じた公園、広場の利用方法の検討を進める（市民・行政）

- ・ 地域住民がアクセスしやすく、子どもから高齢者までが気軽に利用できる体育館などの運動施設を整備する（市民・行政）

- ・ 区内を散策するイベントなどを開催し、地区の文化や歴史を伝える（市民・行政）
- ・ 大学施設内における諸室の一般開放を市民へ周知する（市民・行政・その他）



市立図書館



区内散策イベント（中央区ぶら散歩）

## 10 地域コミュニティ

### 現状と課題

大野北地区内においては、「ふちのべ大学（青山学院大学、麻布大学、桜美林大学などの学生たちと地域の人が連携する大学）」が設立され、大野北銀河まつりなどの地域行事の運営に学生が参加するなど、地域内での世代を超えた交流が活発になっています。また、国際交流ラウンジが地域住民と外国人の国際交流の拠点や支援となり、子ども食堂が設立され子どもの居場所づくりにつながっているなど、地区全体において、住民個々の「共生」の意識が高まっています。

しかし、他地区同様、自治会加入率の低下、地域交流の希薄化などが課題として挙げられています。こうした課題を改善していくためにも、地域の担い手の育成、地域交流の活性化に向けた取組が求められています。

### 対応方策

- ・ 青山学院大学、麻布大学、桜美林大学などの学生と連携して、幅広い世代を対象とした市民教室を開催するなど、学生と地域住民との交流を図る（市民・その他）

- ・昔から地域に住んでいる世帯と新しく転入した世帯が混合した組織を作り、地域イベントの開催などにより、幅広い世代による地域交流を進める（市民）
- ・自治会加入によるメリット（防犯、防災等）の周知を徹底し、自治会加入率の増加を図る（市民・行政）
- ・地域清掃活動への学生の参加呼び掛けを強化する（市民・その他）
- ・児童館や自治会館を有効活用し、住民が集まる地域活動の場を確保する（市民）
- ・ふちのべ大学の学生と地域住民の連携を強化し、幅広い世代によるまちづくりを進める（市民・その他）



自治会加入促進キャンペーン



地域と学生の連携によるイベント運営  
（大野北銀河まつり）

## 会議経過

日程	会議内容	委員出席数
平成30年 5月21日	第1回 ・地域の課題(良くなった・悪くなった点)の抽出	19名
6月26日	第2回 ・課題と対応方策検討 【ハード分野】	23名
7月17日	第3回 ・課題と対応方策検討 【ソフト分野】	19名
8月20日	第4回 ・報告書のとりまとめ ・重点項目の検討	19名
9月18日	第5回 ・報告書のとりまとめ ・重点項目の検討	20名

## 会議の風景

